

日本社会情報学会通信

Vol.26 No.2 2011.8.1

日本社会情報学会

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17
三鷹ビジネスパーク SOHO プラザ A-301
TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062
E-mail: office@jasi.info
URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jasi/>
*本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

☆2011年日本社会情報学会（JSIS&JASI）合同研究大会開催のご案内 ☆

学術委員会委員長 田中 秀幸

2011年日本社会情報学会（JSIS&JASI）合同研究大会を、下記の通り開催いたします。

開催内容については、同封のプログラムの通りでございます（学会HPもご参照下さい）。会員の皆様におかれては、学・官・産・各界の方々をお誘い合せうえ、多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。また、学部学生方々の大会参加は下記の表のとおり、原則無料になりますので、参加を呼びかけていただければ幸いです。

統一テーマ 『地域社会の情報ネットワークとガバナンス』				
[開催期日]	平成 23 年 9 月 9 日（金）	10:00-12:00	ワークショップ（別会場：掛川市）	
		14:00-17:00	シンポジウム	
		17:30-19:30	プレカンファレンス	
	平成 23 年 9 月 10 日（土）	10:00-17:30	（受付開始 9:30）	
		13:00-15:30	シンポジウム	
		16:00-17:00	特別講演	
		17:00-17:30	表彰式	
		18:00-20:00	懇親会	
	平成 23 年 9 月 11 日（日）	10:00-20:00	（受付開始 9:30）	
		11:40-12:10	会員総会	
		12:10-13:30	理事会	
	平成 23 年 9 月 12 日（月）	10:00-12:00	（受付開始 9:30）	
		10:00-12:00	エクスカージョン（視察）	
[会 場]	静岡大学浜松キャンパス 地図： http://www.inf.shizuoka.ac.jp/about/access.html 最寄駅 JR 浜松駅			
[大会事務局]	大会事務局 静岡大学情報学部藤井史朗研究室内 〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3丁目5-1 電話：053-478-1522 電子メール：fujii@inf.shizuoka.ac.jp 大会ウェブサイト： http://tai.ia.inf.shizuoka.ac.jp/jsis_jasi_2011/			
[参加費と懇親会費]				
	(単位：円)	事前申し込み	当日申し込み	懇親会 (9/10)
				プレカンファレンス (9/9)
	一般会員	5,000	6,000	5,000
	学生会員	2,000	2,500	3,000
	非会員	7,000		5,000
	非会員大学院生	2,500		3,000
	非会員学部学生	無料（冊子が必要な場合は2,500円）		3,000
				1,000

* 事前申込締切日は 8 月 31 日（水）

* 郵便振替口座 日本社会情報学会全国大会事務局
(口座番号 00160-2-702417)

* 申込の際の住所及び氏名は、大会開催助成金を交付いただく静岡県に対して助成金規定に基づき提供いたします。

2011年7月26日現在
2011年日本社会情報学会(JSIS & JASI)合同研究大会
プログラム案
大会テーマ:「地域社会の情報ネットワークとガバナンス」

9月9日(金) 会場:「静岡大学情報学部2号館情13教室」、「静岡大学高柳記念館ホール」、「掛川市竹の丸」

10:00~12:00	WS5「参加を実感できるまちづくり:オープンな情報共有と地域ガバナンス」 掛川市竹の丸/静岡県掛川市掛川1200-1/TEL 0537-22-2112
14:00~17:00	公開シンポジウム「東日本大震災から何を学ぶか?:災害と社会情報学」 モデレーター:伊藤守(早稲田大学JSIS会長) 報告者:田中幹人(早稲田大学)、中村広道(日本大学)、岩田孝仁(静岡県危機報道監)、平間英博(宮城県亘理郡山元町副町長)、松井邦夫(ニフティ(株))、柴田邦臣(大妻女子大学) (敬称略)
17:30~19:30	プレカンファレンス「JSIS-BJK災害情報支援チーム 派遣隊リーダーズトーク」 高柳記念館ホール

9月10日(土) 会場:「静岡大学情報学部」

10:00~12:00	I-1 情報社会論1(デジタルデバイド)	I-2 情報社会論5(理論)	I-3 e-支援システム1	I-4 地域情報1	I-5 企業・産業・経済情報1	I-6 メディア・情報行動1(青少年)	WS2「集合知の社会情報学—社会情報学BOK構築への挑戦」	WS3「被災地・山元町の現状と未来、そしてコミュニティラジオ」	WS6「情報社会における間接規制、共同規制、ゲートキーパー規制」
	DR室	情14教室	情22教室	情23教室	情24教室	情25教室	情11教室	情21教室	情13教室
13:00~15:30	シンポジウム「地域社会の情報ネットワークとガバナンス」 西原純(静岡大学)、河井孝仁(東海大学)、宮入興一(愛知大学)、野澤浩樹((株)シーポイント) (敬称略)								
	情13教室								
16:00~17:00	特別講演「光技術のグローバル化」 晝馬日出男氏 (元浜松トニクス常務取締役、現浜松フィルハーモニー理事長)								
	情13教室								
17:00~17:30	JSIS・JASI表彰式								
	情13教室								
18:00~20:00	懇親会 生協南会館								

9月11日(日) 会場:「静岡大学情報学部」

9:30~11:30	II-1 情報社会論2(高齢化)	II-2 情報社会論6(インターネットの影響)	II-3 e-支援システム2	II-4 地域情報2	II-5 企業・産業・経済情報2	II-6 メディア・情報行動2(SNS)	WS1「社会シミュレーション ~ モデルの粒度と現象の接合を探る」	WS4「街の思い出サルベージアルバム・オンライン」
	DR室	情14教室	情22教室	情23教室	情24教室	情25教室	情11教室	情21教室
11:40~13:50	JSIS 11:40~12:20 理事会 J2706教室 12:30~13:30 総会 情21教室				JASI 11:40~12:10 会員総会 大会議室 12:10~13:30 理事会 情11教室			
	13:30~13:50 JSIS・JASI合同委員会 大会議室							
14:00~16:00	III-1 情報社会論3(セキュリティ)	III-2 (災害時の)情報の共有・地域情報1	III-3 e-支援システム3	III-4 地域情報3	III-5 企業・産業・経済情報3	III-6 メディア・情報行動3(心理)	WS1「社会シミュレーション ~ モデルの粒度と現象の接合を探る」	WS7「モバイル・インターネット時代における青少年の育成環境」
	DR室	情14教室	情22教室	情23教室	情24教室	情25教室	情11教室	情21教室
16:10~18:10	IV-1 情報社会論4(海外動向、国際化)	IV-2 (災害時の)情報の共有・地域情報2	IV-3 情報の管理	IV-4 電子自治体	IV-5 情報政策	IV-6 メディア・情報行動4(受容)		
	DR室	情14教室	情22教室	情23教室	情24教室	情25教室		

9月12日(月)

10:00~12:00	エクスカーショ(アクトシティ耐震装置・楽器博物館etc.) 集合場所 楽器博物館(アクトタワー北東前)前10時集合
-------------	--

自由報告・論題詳細プログラム

○=一般 / ◎=大学院生

第1日目：9月10日(土) 自由報告部会 I 10:00~12:00

I-1 情報社会論1 (デジタルデバイド) DR室

○平和構築を推進するデジタルデバイド解消の研究

○村井 俊雄 (リコーテクノシステムズ株式会社) 関口 義一 (創価大学)

○デジタルデバイド解消がもたらす効果の分析

河島 妃奈子 (専修大学 経営学部) ○森本 祥一 (専修大学経営学部)

◎Global Digital Divide Index 2011: Longitudinal Analysis and Changes in the ICT Leaders Worldwide.

◎Kamila Kolpashnikova (東京大学) Tuyara Ediseeva (Institute of Regional Economics)

○視覚障害者の ICT スキル学習支援：サポート団体に対する予備的調査

○鶴岡 和幸 (広島文化学園大学) 部谷 耕治 (広島文化学園大学) 大藤 文夫 (広島文化学園大学)
栗川 隆宏 (広島文化学園大学) 志摩 徹郎 (広島市視覚障害者情報支援センター)

I-2 情報社会論5 (理論) 情14教室

○自主規制のモラルティ-表現規制におけるソフトロー

○原田 伸一郎 (静岡大学情報学部)

○セカイ系の世界経験をめぐって

○中尾 健二 (静岡大学)

○ハイパーテキストの能動的レクチャー -編集から情報創造へ

○曾我 千亜紀 (愛知県立芸術大学) 井上 寛雄 (中京女子大学) 山田 庸介 (名古屋大学) 米山 優 (名古屋大学)

○生成としてのサイボーグに関する一考察

○根村 直美 (日本大学経済学部)

I-3 e-支援システム1(SNS) 情22教室

○エネルギーハーベストを用いた災害時情報通信について

○渡辺尚 (静岡大学創造科学技術大学院) 吉田将也 (静岡大学大学院情報学研究科) 千葉義人 (静岡大学大学院情報学研究科)

○地域 SNS におけるコミュニケーションダイナミクスの分析

○山本仁志 (立正大学) 小川 祐樹 (立正大学) 和崎宏 (関西学院大学) 後藤真太郎 (立正大学)

○災害時における地域 SNS の分析

○小川祐樹（立正大学）山本仁志（立正大学）和崎宏（関西学院大学）後藤真太郎（立正大学）

◎ソーシャルメディアを活用した地域情報化～茨城県北地域における 3 つの事例より～

◎滝沢 惟（茨城大学大学院）高橋 綾香（茨城大学大学院）伊藤 慎吾（茨城大学大学院）大部 由香（茨城大学）米倉 達広（茨城大学）

I-4 地域情報 1 情 23 教室

◎消防活動経験の伝承を可能とする伝承支援 SNS の提案

◎大野 光太郎（電気通信大学）諏訪 博彦（電気通信大学）太田 敏澄（電気通信大学）

○地域活性化と地域のつながり

○杉野 隆（国土舘大学）中根 雅夫（国土舘大学）

○自治体における効果的な地域情報化戦略とは

○大石哲也（静岡県庁企画広報部情報政策課）

◎「市民自治」の観点からみた公設文化施設研究

◎渡部春佳（東京大学大学院学際情報学府）田中秀幸（東京大学大学院情報学環）

I-5 企業・産業・経済情報 1 情 24 教室

◎雑誌『ぴあ』を通じた映画館女性割引の調査研究

◎西尾 明将（東京大学大学院学際情報学府）田中 秀幸（東京大学大学院情報学環）

◎M&A 発表が社債スプレッドと株価に与える影響について(2011)

○上瀧弘晃（中央三井アセット信託銀行）山下泰央（中央三井アセット信託銀行）高橋大志（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）

◎購読雑誌によるライフスタイル分析を用いた広告情報配信の可能性～ファッション雑誌を事例とした考察～

◎上野 亮（青山学院大学大学院社会情報学研究科）飯島 泰裕（青山学院大学大学院社会情報学研究科）

◎テレビ電話の普及を妨げる要因

◎藤原 正弘（(株) KDD I 総研／東京大学大学院学際情報学府）

I-6 メディア・情報行動 1（青少年） 情 25 教室

◎中学生におけるネット依存の実態と要因分析(2011)

◎堀川 裕介（東京大学大学院学際情報学府）橋元 良明（東京大学大学院情報学環）小室 広左子（東京国際大学国際関係学部）小笠原 盛浩（関西大学社会学部）大野 志郎（東京大学大学院学際情報学府）天野 美穂子（東京大学大学院学際情報学府）河井 大介（東京大学大学院学際情報学府）

○高校生の携帯電話利用に関する普及時期別の比較分析

○毛利康秀（日本大学文理学部）

○若者が地域・社会貢献活動に参加しやすい環境構築に向けた実践的な検討

○高城芳之（アクションポート横浜）服部哲（神奈川工科大学）

○父親の子育て参加と通信メディアによる趣味ネットワークの構築

○天笠 邦一（慶應義塾大学 SFC 研究所）小川 克彦（慶應義塾大学環境情報学部）

第2日目：9月11日(日) 自由報告部会Ⅱ 9:30～11:30

Ⅱ-1 情報社会論2（高齢化） DR 室

◎山村コミュニティにおける情報メディアの受容

◎川又 実（東京経済大学大学院）

◎ICTによる高齢者孤立化防止の試み—モデル構築と社会実験について—

◎森 やす子（お茶の水女子大学）袖井 孝子（東京家政学院大学）荒井 浩道（駒澤大学）澤岡 詩野（(公財)ダイヤ高齢社会研究財団）鈴木 昭男（(社)シニア社会学会）

○テレビ電話とコールセンターを利用した中山間地域における高齢者のICT利活用と生活支援の可能性

○賈 馳（島根大学）野田 哲夫（島根大学）

○超高齢社会における高度情報社会のあるべき姿に関する一考察

山田 志穂（専修大学 経営学部）○森本 祥一（専修大学経営学部）

Ⅱ-2 情報社会論6（インターネットの影響） 情14 教室

○ストリートのためのパノラマ画像の撮影と表示手法に関する研究

○西尾 吉男（金城学院大学現代文化学部）菅瀬 和弘

○ソーシャルネットワークにおける社会関係資本とブリッジの役割と機能(2011)

○林 相熏（東京大学大学院学際情報学府）

○インターネットの副作用を考える

○阿部 圭一（愛知工業大学）

◎The Inter-functional Trend of SNS

◎王師晃（オウ シメン）（早稲田大学大学院国際情報通信研究科）

Ⅱ-3 e-支援システム2 情22 教室

○疎結合によるサステナブル情報基盤の実現

○寺藺淳也（会津大学）福原 英之（ネットワンシステムズ）鈴木太郎（会津大学）宮崎敏明（会津大学）

岩瀬次郎（会津大学） 林隆史（会津大学）

◎利用者間のコミュニケーションを目的とした Web-GIS の設計と構築

◎中原 宏樹（電気通信大学大学院情報システム学研究科） 山本佳世子（電気通信大学大学院情報システム学研究科）

◎ニコニコ動画のログデータを用いた新たな面白い動画の発見に関する研究

◎平澤 真大（電気通信大学） 小川 祐樹（立正大学） 諏訪 博彦（電気通信大学） 太田 敏澄（電気通信大学）

◎ユーザ間関与に基づく Twitter フォロワーユーザ推薦

◎北村 太一（電気通信大学 大学院情報システム学研究科） 小川 祐樹（立正大学） 諏訪 博彦（電気通信大学） 太田 敏澄（電気通信大学）

II-4 地域情報 2 情 23 教室

○地域情報取得行動と地域特性の関係：インターネット利用と地域特性のクロス水準交互作用

○北村 智（東京経済大学コミュニケーション学部）

○地域ぐるみで行うキャリア教育の展開と課題～東京大田区の中学校の事例をもとに

田中宏和（静岡大学） ○臼木 悦生（静岡大学）

○郊外社会におけるライフスタイル選好と情報環境の活用—羽村市の場合—

○天野 徹（明星大学）

II-5 企業・産業・経済情報 2 情 24 教室

◎動的不均衡モデルとミクロ的基礎

◎村館 靖之（東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻）

○マクロ統計によるわが国の産業技術構造の推計について

○榊俊吾（東京工科大学メディア学部）

◎景況感の推移における予測値と観測値、および業績値の連関に関する探索的解析

◎那須田 悠貴（静岡大学大学院情報学研究科） 山田 文康（静岡大学大学院情報学研究科）

○A Preliminary Report on A Challenge to Compute Real-time Consumer Price Index in the Framework of Cyber Physical Systems (CPS) Using Large-scale Online Household Record Data

○Yumiko Kinoshita（東京大学大学院情報学環学際情報学府） Reiko Gotoh Osamu Sudoh（東京大学大学院情報学環学際情報学府）

II-6 メディア・情報行動 2 (SNS) 情 25 教室

◎SNS 依存と SNS 利用実態とその影響

◎河井 大介（東京大学大学院学際情報学府） 天野 美穂子（東京大学大学院学際情報学府） 小笠原 盛浩（関西大学社会学部） 橋元 良明（東京大学大学院学際情報学府） 小室 広佐子（東京国際大学国際関係学部） 大野 志郎（東京大学大学院学際情報学府） 堀川 裕介（東京大学大学院学際情報学府）

○ソーシャル・ネットワーキング・サービスの快適なコミュニケーションの裏に潜む依存症とトラブルの危険性(2011)

○花塚 千恵美（武蔵野大学）

○SNS 分析の基礎視角—ゴフマンのパースペクティブから

○木村 雅史（東北大学）

○地域ソーシャルサイトの意義と課題

○河井孝仁（東海大学）

第2日目：9月11日(日) 自由報告部会Ⅲ 14:00～16:00

Ⅲ-1 情報社会論3（セキュリティ） DR 室

○米国の安全保障情報管理政策に関する一考察—秘密指定情報制度を中心に—

○平松 純一（拓殖大学大学院国際協力学研究科安全保障専攻）

○情報セキュリティの規範性

○岡田安功（静岡大学）

○情報セキュリティ攻撃・防御戦略の動的意思決定モデル

鈴木 亜矢子（KDDI株式会社） ○佐藤 直（情報セキュリティ大学院大学） 渡邊 均（東京理科大学）

◎情報セキュリティ内部不正行動のモデル化の試み(2011)

◎川又祥正（情報セキュリティ大学院大学） 廣松毅（情報セキュリティ大学院大学）

Ⅲ-2 （災害時の）情報の共有・地域情報1 情14 教室

○大規模災害に対する地方自治体の情報システムの役割（2011）

○吉田 博一（摂南大学）

◎東日本大震災に見る効果的な情報共有方法の調査

◎伊藤 慎吾（茨城大学大学院） 滝沢 惟（茨城大学大学院） 大部 由香（茨城大学） 米倉 達広（茨城大学）

○福島第一原子力発電所事故による放射能汚染情報に関する避難者の意識調査

○小田光康（早稲田大学大学院政治学研究科）

Ⅲ-3 e-支援システム3 情22 教室

◎日本における電子処方箋のあり方とそのインパクトに関する研究

◎林 新 (電気通信大学) 福田 豊 (電気通信大学)

○Medical social informatics methods for neurosurgical information systems: Study of human computer interface of traumatic brain injury

○Agung Budi Sutiono (電気通信大学) Hirohiko Suwa (電気通信大学) Toshizumi Ohta (電気通信大学) Muh Zafrullah Arifin (Department of Neurosurgery Padjadjaran University-Hasan Sadikin Hospital)

○Interface Settings and the Improvement Proposal of the Astronomy News Integrated System for the Museum Curator

○陳玉鈴 (名古屋大学) 浦田真由 (日本学術振興会特別研究員 PD) 毛利 勝廣 (名古屋市科学館) 安田孝美 (名古屋大学)

◎暗号危殆化に対する HTTPS 暗号可視化手法の提案

◎高野 誠士 (電気通信大学) 関 良明 (NTT 情報流通プラットフォーム研究所) 諏訪 博彦 (電気通信大学)

Ⅲ-4 地域情報3 情23 教室

○プロジェクト学習を通じた地域ポータルサイトの運営に向けた取り組み

○林 康弘 (千歳科学技術大学) 小松川 浩 (千歳科学技術大学)

◎遺伝的アルゴリズムを用いた観光地の施設配置の評価方法の提案

◎井上美佳 (電気通信大学大学院情報システム学研究科) 山本佳世子 (電気通信大学大学院情報システム学研究科)

○市民主体による地域サイトの構築と継続的な運営に関する研究

○浦田 真由 (名古屋大学大学院) 後藤 昌人 (金城学院大学) 安田 孝美 (名古屋大学大学院)

Ⅲ-5 企業・産業・経済情報3 情24 教室

○オープンソース・ソフトウェアと情報サービス産業の生産性

○谷花 佳介 (島根大学) 野田 哲夫 (島根大学)

○日本のレコード産業に見る技術革新と構造変化に関する研究

○加藤 綾子 (東京大学大学院情報学環)

○世界金融危機における情報化のパラドックス

○河又貴洋 (長崎県立大学シーボルト校国際情報学部)

◎モバイルサービスにおけるネットワーク効果と会苦システム—韓国モバイルインターネット活性化政策を事例に—

◎趙章恩 (東京大学大学院学際情報学府) 須藤修 (東京大学大学院情報学環)

Ⅲ-6 メディア・情報行動3 (心理) 情 25 教室

◎ネット上での利他的な情報発信が社会的スキルと QOL に与える影響

◎乾 貴史 (創価大学大学院工学研究科) 大木 慎 (創価大学大学院工学研究科) 坂部 創一 (創価大学大学院工学研究科)

◎インターネット上の対人交流が孤独感と QOL に与える影響

◎大木 慎 (創価大学大学院工学研究科) 乾 貴史 (創価大学大学院工学研究科) 坂部 創一 (創価大学大学院工学研究科)

○大人のネットいじめに対する対策の現状と課題

安達 早苗 (専修大学 経営学部) ○森本 祥一 (専修大学経営学部)

第2日目：9月11日(日) 自由報告部会Ⅳ 16:10～18:10

Ⅳ-1 情報社会論4 (海外動向, 国際化) DR 室

◎中国社会における「人肉搜索」の現状と諸問題

◎高 広強 (静岡大学大学院情報学研究科)

◎リアリティTVの中国における受容と展開

◎李 璐 (静岡大学大学院情報学研究科)

◎台湾における情報通信分野の独立規制機関をめぐる考察

◎王慧萍 (東京大学大学院学際情報学府)

◎東日本大震災発生後のインターネットを介した中国への情報伝播について

◎西本志乃 (広島大学大学院)

Ⅳ-2 (災害時の) 情報の共有・地域情報2 情 14 教室

◎被災者支援に見る被災者と支援者と仲介者の関係

◎辻 和孝 (茨城大学大学院) 河野 義広 (東京情報大学) 大部 由香 (茨城大学) 米倉 達広 (茨城大学)

○災害時ボランティア情報の流通におけるインターネット活用ー東日本大震災から考える

○藤代 裕之 (NTT レゾナント株式会社)

○Social media による情報発信・情報共有と世論形成

○田中 雅子 (東京電機大学情報環境学部) 高倉 美沙 (東京電機大学)

Ⅳ-3 情報の管理 情 22 教室

座長：北村順生(新潟大) 討論者：太田敏済(電通大)

○SD データに対する「不良回答」識別のための新たな手順の提案

○早川 敬一 ((株)計画研究所) 高嶺 一男 ((株)計画研究所) 杜 勝男 (静岡大学大学院) 山田 文康 (静岡大学大学院)

○SD データに対する「不良回答」識別方法の一般的質問項目への拡張

○山田 文康 (静岡大学大学院) 杜 勝男 (静岡大学大学院) 関口 茉莉 ((株)ミウラクリエイト) 早川 敬一 ((株)計画研究所) 高嶺 一男 ((株)計画研究所)

○個人情報漏洩を入力値分析を用いて防ぐ調査システムの設計

○岩井 淳 (群馬大学社会情報学部情報行動学科)

○標準フォーマット策定のためのマニフェストデータの構造化に関する研究

堀由希恵 (静岡大学情報学部) ○佐藤哲也 (静岡大学情報学部准教授)

IV-4 電子自治体 情 23 教室

○e L T A Xを用いたオンライン利用手続の実態調査

○横山 正人 (長崎総合科学大学環境・建築学部)

○京都府共同利用型業務支援システムにおける業務標準化の課題～総務省自治体クラウド開発実証事業から～

○青木 和人 (宇治市役所) 深田 秀美 (小樽商科大学)

○基礎自治体の公式ウェブサイトにおける外国人向け観光紹介ページの現状と評価

佟 楊 (フローバル株式会社) 有馬 典孝 (兵庫県立大学) ○有馬 昌宏 (兵庫県立大学)

○合併自治体における職員の情報交換の実態と IT の活用—静岡県磐田市の事例—

○西原 純 (静岡大学情報学部) 篠田靖子 (デンソーIT ソリューションズ)

IV-5 情報政策 情 24 教室

◎イギリスの情報公開法と電子政府政策

◎本田正美 (東京大学大学院学際情報学府)

◎中小企業の企業間連携におけるプラットフォームの実証研究

◎赤穂 満 (電気通信大学大学院情報システム学研究科) 福田 豊

IV-6 メディア・情報行動 4 (受容) 情 25 教室

○対面時の「ケータイのディスプレイを見る行為」に対する許容と非許容との関連について

○中村隆志 (新潟大学人文学部)

○テキスト系 CGM 利用時の不安に関する自由記述を中心とした調査結果について

○山本太郎 (NTT) 千葉 直子 (NTT) 植田 広樹 (NTT) 高橋 克巳 (NTT) 平田 真一 (NTT)
小笠原 盛浩 (関西大) 関谷 直也 (東洋大) 中村 功 (東洋大) 橋元 良明 (東大)

◎在日コリアンの韓国ドラマ視聴と民族アイデンティティに関する探索的考察

◎金 ミンジ (名古屋大学)

☆ 平成 23 年度総会報告 ☆

日 時 平成 23 年 6 月 18 日 (土) 11:00~11:45
会 場 中央大学駿河台記念館 670 号室

[開催次第]

司会 五藤寿樹総務委員会委員長 桜井成一朗総務委員会副委員長

1 会長挨拶

五藤総務委員長より、開会挨拶。

2 議長の選出

定款 31 条により、五藤総務委員長、廣松会長が議長となる。

3 総会の成立

五藤議長より、定款第 33 条にもとづき、正会員数 372 名のうち出席会員 15 名、委任状提出会員 93 名であり、正会員の 1 / 4 を超えているとの報告により、本総会は成立した。

4 議事

審議にあたり、書記（平林幹朗氏）、議事録署名人（山本佳世子氏、後藤玲子氏）が指名され、承認された。

下記の各議案につき、議長、各委員長より報告と提議がなされ、原案通り承認した。

第 1 号議案 平成 22 年度事業報告

第 2 号議案 平成 22 年度収支決算

第 3 号議案 平成 23 年度事業計画案

第 4 号議案 平成 23 年度収支予算案

その他学会運営に関する事項

<平成 23 年度総会資料>

* HPに公開しています。

【第1号議案 平成22年度事業報告】

[総務委員会所管] (委員長 五藤寿樹)

1. 委員会構成

委員長 五藤寿樹 (日本橋学館大学)
 副委員長 桜井成一郎 (明治学院大学)
 委員 安藤明之 (東京経済大学) 榑俊吾 (東京工科大学)
 後藤玲子 (茨城大学) 和泉恵子 (事務局)

2. 委員会

●第1回総務委員会

日時 2010年9月5日 (月) 15:45-16:15

会場 長崎県立大学シーボルト校会議室

出席者 五藤、桜井、後藤、廣松会長、和泉

議題

- 1 JASI、JSIS合併について
- 2 支部予算について
- 3 会費のクレジット払いについて

3. 定例会議の企画、運営

- ① 会員総会 1回(6/19)
- ② 理事会 4回(5/24, 7/23, 9/4, 12/2)
- ③ 評議員会 1回(9/4)

4. 学会通信の発行

3回発行 Vol.25-1(4月1日) Vol.25-2(8月1日) Vol.25-3(12月1日)

5. ホームページ管理

掲載内容・仕組み、内容充実策検討、リンク等
 *学会賞受賞者一覧掲載

6. 財務管理

- ・会費の徴収(未納者への督促強化)
- ・平成22年度収支決算
- ・平成23年度収支予算作成
- *経費削減方策の検討による予算への反映

7. 名簿の発行 23年発行予定

8. 会員管理 *2011年3/末現在

- ・平成22年度会員増減

種 類	入 会	退 会	増 減
個人正会員	26	33	-7
団体正会員	1	2	-1
計	27	35	-8

- ・会員数推移

種 類	22.3	23.3	増 減	備 考
個人正会員	365	358	-7	
団体正会員	15	14	-1	
計	380	372	-8	

[企画委員会所管] (委員長 木村 忠正)

1. 委員会構成

企画委員会委員長 木村 忠正 (東京大学)
企画委員会副委員長 佐藤 佳弘 (株情報文化総合研究所)
小笠原盛浩 (東京大学)
税所 哲郎 (群馬大学)
斎藤 嘉孝 (西武文理大)
内藤 孝一 (株NTTデータ)
藤原 正弘 (株KDDI総研)
前田 隆正 (NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構)

2. 委員会

[第1回企画委員会]

日時 2009年6月19日 (土) 13:00-13:50

会場 東京国際フォーラムG407会議室

出席者 木村、小笠原、藤原

議題1 企画委員会担当研究会の年間開催スケジュールについて

3. 研究会

[第122回定例研究会] JASI特別企画ICTフォーラム2010

日時 6月19日 (土)

会場 東京国際フォーラム

テーマ メディアの現在を問う

パネリスト 遠藤 薫 (学習院大学)
大山 泰 (株式会社フジテレビジョン)
浜村寿紀 (社団法人共同通信社)
藤代裕之 (ガ島通信)

コーディネーター 木村忠正 (東京大学)

[第123回定例研究会]

日時 10月26日 (火)

会場 東京大学駒場キャンパス

テーマ 情報ネットワーク研究における質的研究
第1回「定性・定量融合法による情報ネットワーク研究」

講師 木村忠正 (東京大学)
新井田統 (KDDI研究所)
披田野千絵 (KDDI研究所)

[第124回定例研究会]

日時 12月23日 (木)

会場 東京大学駒場キャンパス

テーマ 情報ネットワーク研究における質的研究
第2回「定性・定量融合法による情報ネットワーク研究」

講師 天笠邦一
(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科後期博士課程、
藤沢市政策研究員)
木村周平 (富士常葉大学大学院環境防災研究科)

[第125回定例研究会]

日時 1月21日 (金)

会場 電気通信大学

主催 環境・教育・GIS研究部会

テーマ 第17回社会情報システム学シンポジウム

[第126回定例研究会]

日 時 1月26日(水)
会 場 全国町村会館
テーマ アクセンチュアのワークスタイル・ワークプレース戦略
講 師 宇佐見 潮(アクセンチュア(株) 執行役員 統括本部長)

[第127回定例研究会]

日 時 2月19日(土)
会 場 東京大学駒場キャンパス
テーマ 第3回「ビジネス・エスノグラファー」
講 師 田村 大(株)博報堂・イノベーション・ラボ上席研究員
鵜飼孝典(株)富士通研究所ナレッジテクノロジー研究部
久保隅 綾(大阪ガス行動観察研究所主任研究員)

[第128回定例研究会]

日 時 2月21日(月)
会 場 東京大学本郷キャンパス
主 催 研究者倫理研究部会
テーマ 不祥事と研究者倫理：マスメディア分析と科学研究者の視点から
講 師 白楽ロックビル(お茶の水女子大学教授)

◆ 情報政策研究会

○メンバー構成

主査 前田隆正(「SOHO CITYみたか」推進協議会)
委員 茶谷達雄(都市情報システム研究所)
今井雄一(トッパン・フォームズ)
小向鋭一(ジェイエスキューブ)
梅原寿夫(ジェイエスキューブ)
佐藤文一(東北通信建設)
平林幹朗(キャリアアップ企画)
藤田弥生(NTTデータ)
尾関敬二(自治・人財・情報研究所)

○第1回会合

日 時 平成22年5月14日(金)17:00~19:00
会 場 三鷹産業プラザ 地下会議室
出席者 前田、茶谷、小向、今井、木村、梅原、藤田、平林
議 題 開催企画の検討

[第59回情報政策研究会]

日 時 6月30日(水)
会 場 中央大学駿河台記念館
テーマ リアルタイムの気象情報が変えるライフスタイル
講 師 (株)ライフビジネスウエザー 代表取締役 石川 勝敏

[第60回情報政策研究会]

日 時 8月19日(木)
会 場 全国町村会館
テーマ テレワークの現状と今後の課題
講 師 (株)NTTデータリージョナルビジネス事業本部e-コミュニティ事業部
北村 有紀

[第61回情報政策研究会]

日 時 12月2日(木)

会 場 中央大学駿河台記念館
 テーマ 教育の情報化
 講 師 齋藤 晴加 (文部科学省生涯学習政策局 参事官)
 安間 敏雄 (総務省情報通信利用促進課長)

[情報交流会]

日 時 12月2日 (木)
 会 場 中央大学駿河台記念館

[第62回情報政策研究会]

日 時 1月26日 (水)
 会 場 全国町村会館
 テーマ アクセンチュアのワークスタイル・ワークプレ戦略
 講 師 宇佐見 潮 (アクセンチュア(株) 執行役員 統括本部長)

[学術委員会所管] (委員長 田中秀幸)

1. 委員会構成

学術委員会委員長：田中秀幸 (東大)

学術委員会副委員長：山本佳世子 (電通大)

学術委員会委員 (アイウエオ順)

阿部昭博 (岩手県立大) 安藤明之 (東経大) 石田亨 (京都大) 和泉潤 (名産大) 岩井淳 (群馬大) 遠藤 薫 (学習院大) 太田敏澄 (電通大) 岡田勇 (創価大) 兼田敏之 (名工大) 河又貴洋 (長崎県大) 木村忠正 (東大) 小郷直言 (大阪大) 後藤玲子 (茨城大学) 五藤寿樹 (日本橋学館大) 税所哲郎 (群馬大) 齋藤嘉孝 (西武文理大) 榎俊吾 (東京工科大学) 桜井成一郎 (明治学院) 佐渡一広 (群馬大) 佐藤哲也 (静岡大) 嶋崎真仁 (秋田県大) 島田達巳 (情報セキュリティ大学院大) 小豆川裕子 (N T T データ経営研) 須藤修 (東大) 寺野隆雄 (東工大) 富山慶典 (群馬大) 高橋真吾 (早大) 田中秀幸 (東大) 田中宏和 (静岡大) 刀川真 (室蘭工大) 塚原康博 (明治大) 遠山茂樹 (高知大) 中井豊 (芝浦工大) 新川達郎 (同志社) 根本敏則 (一橋大) 野田哲夫 (島根大) 福田豊 (電通大) 廣松毅 (情報セキュリティ大学院大) 牧瀬稔 (地域開発研) 味水佑毅 (高崎経済大) 三友仁志 (早大) 山本佳世子 (電通大)

学会誌編集専門委員会

学会誌編集専門委員会委員長：五藤 寿樹 (日本橋学館大)

副委員長：岡田 勇 (創価大)

学会誌編集専門委員会委員：(アイウエオ順)

安藤明之 (東経大) 和泉潤 (名産大) 岩井淳 (群馬大) 遠藤薫 (学習院大) 太田敏澄 (電通大) 兼田敏之 (名工大) 河又貴洋 (長崎県大) 木村忠正 (東大) 後藤玲子 (茨城大学) 桜井成一郎 (明治学院) 小豆川裕子 (N T T データ経営研) 須藤 修 (東大) 高橋真吾 (早大) 寺野隆雄 (東工大) 田中秀幸 (東大) 刀川真 (室蘭工大) 中井豊 (芝浦工大) 野田哲夫 (島根大) 根本敏則 (一橋大) 福田豊 (電通大) 廣松毅 (情報セキュリティ大学院大) 牧瀬 稔 (地域開発研) 山本佳世子 (電通大)

文献論文選考委員会

文献論文選考委員会委員長：太田敏澄

2. 学術委員会開催

●第1回学術委員会

日 時 平成22年5月15日 (土) 15:00~16:45

会 場 東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室

出席者 岩井淳（群馬大）、遠藤薫（学習院大）、太田敏澄（電通大）、
岡田勇（創価大）、河又貴洋（長崎県大）五藤寿樹（日本橋大）、
櫻井成一郎（明学院大）、田中秀幸（東大）、新川達郎（同志社大）、
野田哲夫（島根大学）、廣松毅（情報セキュリティ大）、
牧瀬稔（地域開発研究所）、山本佳世子（電通大）

議 事

1. 前回議事録の確認
2. 平成22年度学術委員会の構成、進め方について
3. 学位論文賞
4. 平成22年度の全国大会
5. 研究者倫理研究会
6. その他

●第2回学術委員会

日 時 平成22年6月5日（土）15:00～

会 場 東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室

出席者 岩井淳（群馬大）、太田敏澄（電通大）、櫻井成一郎（明学院大）、
佐渡一広（群馬大）、嶋崎真仁（秋田県立大）、田中秀幸（東大）、
新川達郎（同志社大）、廣松毅（情報セキュリティ大学院大）、
味水祐毅（高崎経済大）、山本佳世子（電通大）

議 事

1. 前回議事録の確認
2. 優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞等
3. 22年度の全国大会
4. 第4回大学院生研究発表大会
5. その他

●第3回学術委員会

日 時 平成22年7月17日（土）10:15～11:00

会 場 東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環7階第3演習室

出席者 安藤明之（東経大）、和泉潤（名産大）、岩井淳（群馬大）、
遠藤薫（学習院）、太田敏澄（電通大）、岡田勇（創価大）、
河又貴洋（長崎県立大）、五藤寿樹（日本橋大）、
櫻井成一郎（明治学院大）、田中秀幸（東大）、塚原康博（明治大）、
寺野隆雄（東工大）、廣松毅（情報セキュリティ大）、
福田豊（電通大）

議 事

1. 前回議事録の確認
2. 学位論文賞、優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞等
3. 22年度の全国大会
4. 情報化教育
5. 科研費の細目検討
6. 規定の改正
7. 委員の追加

●第4回学術委員会

日 時 平成22年9月28日（火）17:00～17:45

会 場 東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室

出席者 岩井淳（群馬大）、太田敏澄（電通大）、岡田勇（創価大）、
五藤寿樹（日本橋学館大）、後藤玲子（茨城大）、田中秀幸（東大）、
田中宏和（静岡大）、新川達郎（同志社大）廣松毅（情報セキュリティ大）、

山本佳世子（電通大）

議 事

1. 前回議事録の確認
2. 22年度の全国大会
3. 23年度の全国大会
4. 情報化教育
5. 投稿申込み用紙様[様式-2]の改定
6. その他

●第5回学術委員会

日 時 平成22年11月15日（月）18:00～19:00

会 場 東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室

出席者 安藤明之（東経大）、太田敏澄（電通大）、岡田勇（創価大）、
五藤寿樹（日本橋学館大）、田中秀幸（東大）、
廣松毅（情報セキュリティ大）、山本佳世子（電通大）

議 事

1. 前回議事録の確認
2. 平成23年度の全国大会
3. 情報化教育
4. 第4回大学院生研究発表大会
5. その他

●第6回学術委員会

日 時 平成22年3月6日（土）15:15～15:25

会 場 東京大学本郷キャンパス・大学院情報学環6階会議室

出席者 安藤明之（東経大）、太田敏澄（電通大）、五藤寿樹（日本橋大）、
櫻井成一郎（明学院大）、須藤修（東大）、田中秀幸（東大）、
山本佳世子（電通大）

議 事

1. 前回議事録の確認
2. 23年度全国大会について（田中委員）
3. 22年度学術委員会活動をふりかえって
4. その他

●第7回学術委員会

日 時 平成23年3月29日（火）12:00～12:50

会 場 早稲田大学本部キャンパス16号館605号室

出席者 和泉潤（名産大）、岩井淳（群馬大）、遠藤薫（学習院大）、
太田敏澄（電通大）、岡田勇（創価大）、五藤寿樹（日本橋学館大）、
佐藤哲也（静岡大）、税所哲郎（群馬大）、田中宏和（静岡大）、
田中秀幸（東大）、塚原康博（明治大）、野田哲夫（島根大）、
山本佳世子（電通大）

議 事

1. 平成22年度第6回学術委員会議事録案の了承。
2. 平成23年度の全国大会（田中委員）
3. 研究者倫理研究部会（田中委員、山本委員）
4. 新規の研究部会の承認（田中委員）
5. その他

3. 学会誌発行状況

#22-1 2010年9月発行 #22-2 2011年3月発行
投稿論文数 学術論文：15件（3月31日現在）

採択論文数 学術論文：5件（過去1年間の状況）（採択率38%）

[表彰委員会所管]（委員長 島田達巳）

1. 委員会構成

- 委員長 島田達巳（情報セキュリティ大学院大学）
- 副委員長 有馬昌宏（兵庫県立大学）
- 委員 榎並利博（㈱富士通総研）
- 太田敏澄（電気通信大学）
- 尾関敬二（自治・人財・情報研究所）
- 久保貞也（摂南大学）
- 五藤寿樹（日本橋学館大学）
- 小豆川裕子（㈱NTT データ経営研究所）
- 戸谷寿夫（関西情報化維新協議会）
- 吉田博一（大阪府）
- 吉田 稔（西宮市）
- 渡邊慶和（岩手県立大学）

2. 平成22年度学会各賞の選考

- ・社会情報システム貢献賞 特定非営利活動法人安心院グリーンツーリズム研究会
藤沢市
粕屋町
廉 宗淳（イーコーポレーションドットジェーピー㈱）
内山 慶治（熊本県球磨郡山江村前村長）
竹内 和朗（長崎県南松浦郡上五島町元情報化推進室）
- ・優秀論文賞「道路交通の人工排熱に着目した都市ヒートアイランド関連施策の評価」
今井康平 山本佳世子（電気通信大学）
- ・論文奨励賞「企業内 SNS 導入における有効性に関する調査研究」
加藤菜美絵（電気通信大学）
- ・大学院学位論文賞
（学位論文賞：博士論文）
- ・論文賞 「Study on an Integrated Framework for Agent-Based Social Simulation」
楊 超（東京工業大学）
- ・奨励賞 「組織内コミュニケーションとパフォーマンス
—企業組織へのメールログのネットワーク分析
及びエージェントシミュレーションの適用の研究—」
鳥山 正博（東京工業大学）
- （学位論文賞：修士論文）
- ・論文賞 「アーティストネットワークを用いたインディーズ推薦システムの構築」
佐藤 智行（電気通信大学）
「日本におけるeParticipation に関する考察」
中野 邦彦（東京大学）
- ・奨励賞 「インターネット株式掲示板の投稿数および投稿内容を用いた
ファクターモデルの構築に関する研究」
阿部 有希（電気通信大学）
「ニュース特性と個人の嗜好に合わせた動画ニュース推薦システムに
関する研究」
今泉 徹（電気通信大学）
- ・日本社会情報学会・秋山穰賞
「Study on an Integrated Framework for Agent-Based Social

Simulation]

楊 超 (東京工業大学)

- ・研究発表賞 *H22年度合同研究大会発表者から選考された者

「Determinants of behavioral intention to use 3G mobile TV service」

Andri Qiantor (電気通信大学)

「Digital Inequality in East and South-East Asia: The Lagging Youth of Japan」

Kamila KOLPASHNIKOVA (東京大学)

「電子書籍検索のための ZigZag インタフェース」

後藤 達弥 (電気通信大学)

「ネットワーク高度化によるモバイル産業構造変化分析

—韓国スマートフォン・プラットフォーム戦略を中心に—」

趙 章恩 (東京大学)

「研究グループにおける文献を基にした知識共有指標の提案」

山本 悠介 (電気通信大学)

*学会賞受賞者一覧をホームページへ掲載

3. 委員会の開催

● 第1回表彰委員会

日 時 7月23日 (土) 11:00-12:00

会 場 東京大学大学院情報学環 6階会議室

出席者 島田、太田、榎並、尾関、五藤

議 題

1. 大学院学位論文賞および学位論文奨励賞について
2. 社会情報システム貢献賞について
3. 秋山賞について

[JSI編集委員会]

1. 委員会構成

委員長：遠藤 薫 (学習院大)

JASI側副委員長：櫻井成一朗 (明治学院大)

安藤明之 (東経大)

太田敏澄 (電気通信大学)

岡田 勇 (創価大)

木村忠正 (東大)

五藤寿樹 (日本橋大)

寺野隆雄 (東工大)

田中秀幸 (東大)

新川達郎 (同志社)

廣松 毅 (情報セキュリティ大学院大)

山本佳世子 (電通大)

2. 委員会

5回の編集委員会を開催し、Vol.3 を発行するとともに、Vol.4 の募集及び審査を継続している。

3. 学会誌発行状況

#Vol.3 2010年9月発行

投稿論文数 学術論文：7件

採択論文数 学術論文：1件 (過去1年間の状況) (採択率14%)

#Vol.4 2011年9月発行予定

投稿論文数 学術論文:6件 速報論文:1件 (3月31日現在 審査中)

【第2号議案 平成22年度収支決算】

平成22年4月1日－平成23年3月31日 単位：円

収入の部					
	科目	22年度予算	22年度実績	対予算	項目
	正会員会費				
1	個人会員	3,010,500	3,283,300	272,800	
2	団体会員	950,000	950,000	0	15社
	(会費計)	3,960,500	4,233,300	272,800	
3	雑収入	500,000	454,670	-45,330	大会補助金返金、学会誌年間購読他
	収入合計	4,460,500	4,687,970	227,470	
	前年度繰越	650,364	650,364	0	
	合計	5,110,864	5,338,334	227,470	

支出の部					
1	和文学会誌作成費	700,000	742,550	-42,550	和文2回印刷
2	英文学会誌作成費	660,000	567,529	92,471	英文1回印刷(30)、翻訳(30)、査読謝礼(6)
3	研究会開催費	300,000	413,032	-113,032	定例5回、情報政策4回
4	全国大会補助金	150,000	150,000	0	
5	分科会補助金	160,000	120,000	40,000	2部会、横幹連合、社会学系コンソーシアム
6	学会賞作成費	150,000	246,000	-96,000	権、受賞者大会参加費・懇親会費
7	会員名簿作成費	0	0	0	
8	通信費	300,000	314,329	-14,329	宅急便、切手、電話他、レンタルサーバ
9	印刷費	300,000	264,624	35,376	学会通信、コピー代他
10	事務費(事務所費)	300,000	141,000	159,000	光熱費(H23.1-H23.3)
11	事務管理費	1,260,000	1,260,000	0	事務委託
12	備品費	100,000	0	100,000	
13	会議費	50,000	47,929	2,071	理事会評議員会、情報交流会
14	消耗品費	150,000	69,524	80,476	ソフト、ラベル、用紙、トナー他
15	雑費	100,000	249,905	-149,905	振込手数料、抜刷立替、総会会場費他
16	支部補助金	200,000	200,000	0	4支部
17	予備費	50,000	0	50,000	
	支出合計	4,930,000	4,786,422		
	次年度繰越金	180,864	551,912		
	合計	5,110,864	5,338,334		

*次年度繰越金	みずほ銀行	三鷹駅前郵便局
551,912	491,011	60,901

平成22年度の収支決算について、監査の結果、正確であることを証する。

平成23年/ /

監査人 氷鉦揚四郎

監査人 刀川 貞



【第2号議案 平成22年度収支決算】 平成22年4月1日－平成23年3月31日 単位：円

●平成22年度特別会計【秋山賞基金】収支報告 H23年3月31日現在

金額合計		2,010,081
収入の部		
	繰越金*	2,209,548
	利息	533
	収入合計	2,210,081
支出の部		
	平成22年度秋山賞	200,000
	支出合計	200,000
	繰越残高	2,010,081

* 平成16年電子推進協議会から秋山賞基金として3,000,000円の寄付を受け、これまで今回を含め、秋山賞として1,000,000円を支出している。

●平成22年度特別会計【全国大会】収支報告 平成22年4月1日－平成23年3月31日 単位：円

金額合計		257,305
収入の部		
	繰越金	383,330
	H22年度合同大会剰余金	44,249
	利息	86
	収入合計	427,665
支出の部		
	旅費	170,360
	支出合計	170,360
	繰越残高	257,305

この平成22年度の収支決算について、監査の結果、正確であることを証する。

平成23年5月6日

監査人

水鉤揚四郎



監査人

刀川 真



【第3号議案 平成23年度事業計画】**[総務委員会所管]**

1. 委員会構成

委員長 五藤寿樹（日本橋学館大）
副委員長 桜井成一朗（明治学院大）
委員 安藤明之（東経大） 榊俊吾（東京工科大）
後藤玲子（茨城大）

* 必要に応じ、委員を追加する。

* 主要会議体（理事会、評議員会、総会）の運営については、理事会への提案による決定にもとづき役割を分担し実施する。

2. 平成23年度事業計画案

1) 運営

- ① 総務委員会は、学会事務局内へ置く
- ② 各委員会、各支部との連携による運営
- ③ 総務委員会の開催

2) 主要会議の開催業務

（業務：通知文、通知、出欠、資料、議事録、会場確保・設営）

① 理事会

* 各委員会からの議題・報告の事前確認

② 常任理事会（随時）

③ 評議員会（年1回）

④ 会員総会（1回）

3) 諸規則の整備

① 規則集の作成と関係役員への配布

② 主要規則のホームページへの掲載

4) 学会通信の発刊（年3回：4月、8月、12月）

5) 財務管理（予算・決算）

① 平成23年度収支決算（月度決算）

* 徹底した収支管理

* 各種通知業務の効率化（メールでの通知の徹底を図る）

② 平成23年度収支予算案の作成。（理事会へ提案）

6) 会費の徴収（予算・決算）

① 平成23年度・会費の請求（4月）

② 未納者への督促・再請求（4月、8月、12月、3月）

③ 未納者への対応 * サービス停止・除名等を会員へ周知する。

7) 会員管理（既存会員・新入会員、退会会員）

① 会員の確認（会員種別：個人正会員、団体正会員）

② 会員管理業務の電子化による正確性と対応の迅速化

③ HPへのダウンロード可能対応

④ 会員増強策

8) ホームページへの全体管理、運営

9) その他

① 統合に向けての調査

[企画委員会所管]

1. 委員会構成

企画委員会委員長	木村 忠正 (東大)
企画委員会副委員長	佐藤 佳弘 (㈱情報文化総合研究所)
	小笠原盛浩 (関西大)
	税所 哲郎 (群馬大)
	斎藤 嘉孝 (法政大)
	内藤 孝一 (㈱NTTデータ)
	藤原 正弘 (㈱KDDI総研)
	前田 隆正 (NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構)

2. 平成23年度事業計画案

1) 委員会開催

(1) 方針

各研究会の担当（委員構成）明確化による運営

(2) 審議事項

① 研究会の活性化について

② 年間スケジュール

③ 各研究会の企画立案

テーマ・形式 講師の折衝（依頼状、発表方法、配付資料）会場案内方法

④ 当日の運営と事後評価について

(3) 日程

未定

2) 事業内容

(1) 定例研究会企画実施（年間5回程度）

① 定例研究会の方向性

A) 啓発的、情報交換

B) 学術的、研究促進的

の2つの方向を区別して研究会を開催する。

② 定例研究会の開催主体

・「社会シミュレーションと人間行動」研究部会には、年度に一度は定例研究会としての開催をお願いする。新規に研究部会が立ち上がる際も、年度に一度は定例研究会開催することを予めお願いしておく。

・情報政策研究会と調整し、1回を定例研究会として開催していただく。

・企画委員によるプロデュース。

・科研費など研究助成に関連し、研究成果発表の場を希望する会員が、定例研究会として研究会を開催するのをコーディネートする可能性も探る。

③ 定例研究会

・第129回定例研究会（平成23年情報通信月間参加行事

・会員総会と同日開催）

➤ 日 時 6月18日（土）14:30-16:00

➤ 会 場 中央大学駿河台記念館670会議室

- ▶ テーマ JASI 特別企画 ICT フォーラム2011
- ・ 以後検討中

(2) 情報政策研究会 (年間4回)

① 平成23年度・情報政策研究会の基本的な考え方

今年度は、東北大地震が起こり、社会の基盤である各種の情報網に大きな打撃を与え、社会の仕組みの再構築が求められている。

本学会テーマの一つである「社会の大動脈である情報ネットワーク」について、この大地震を通じて学ぶことが多くあるとの判断から、現場での多様なメディアを活用した事例をテーマとして取り上げたい。現場の活動状況や今後の大地震予知精度に関するテーマを取り上げ、より強固で活用度の高いネットワーク構築のヒントを提示して貰う。

《テーマ》(案) *テーマ(仮題)・講師・開催日予定。

1) [東北大地震と情報ネットワーク]

- ① 7月 「消防庁における救援活動とネットワーク」元自治省／石川家継
- ② 9月 「地震と情報通信網」NTT東日本／NTTドコモ
- ③ 11月 「電磁波による地震予知」電通大／早川正士名誉教授・特任教授

2) [政府施策関係] *現状の課題、次年度主要施策

- ④ 12月 「政府・情報政策関連施策」 「情報交流会」

3) 他 ・個人情報保護ワーキンググループ報告

・ 3大ソーシャルメディア活用状況と課題

② 全国研究発表大会への参加

- ・ 浜松市のSNS活用事例 → 「自治体ワークショップ」

3) その他

- ・ 外部に対する普及活動
- ・ 各種研究会等の開催スケジュールをホームページで公開
- ・ 他学会主催研究会等への参画(後援・共催・協賛等)

[学術委員会所管]

1. 委員会構成

学術委員会委員長：田中秀幸（東大）

学術委員会副委員長：山本佳世子（電通大）

学術委員会委員（アイウエオ順）

阿部昭博（岩手県立大） 安藤明之（東経大） 石田亨（京都大） 和泉潤（名産大） 岩井淳（群馬大） 遠藤薫（学習院大） 太田敏澄（電通大） 岡田勇（創価大） 兼田敏之（名工大） 河又貴洋（長崎県大） 木村忠正（東大） 小郷直言（大阪大） 後藤玲子（茨城大学） 五藤寿樹（日本橋学館大） 税所哲郎（群馬大） 斎藤嘉孝（法政大） 榊俊吾（東京工科大学） 桜井成一朗（明治学院） 佐渡一広（群馬大） 佐藤哲也（静岡大） 嶋崎真仁（秋田県大） 島田達巳（情報セキュリティ大学院大） 小豆川裕子（N T T データ経営研） 須藤修（東大） 寺野隆雄（東工大） 富山慶典（群馬大） 高橋真吾（早大） 田中秀幸（東大） 田中宏和（静岡大） 刀川眞（室蘭工大） 塚原康博（明治大） 遠山茂樹（高知大） 中井豊（芝浦工大） 新川達郎（同志社） 根本敏則（一橋大） 野田哲夫（島根大） 福田豊（電通大） 廣松毅（情報セキュリティ大学院大） 牧瀬稔（地域開発研） 味水佑毅（高崎経済大） 三友仁志（早大） 山本佳世子（電通大）

*必要に応じ、委員を追加する。

学会誌編集専門委員会

学会誌編集専門委員会委員長：五藤 寿樹（日本橋学館大）

副委員長：岡田 勇（創価大）

学会誌編集専門委員会委員：（アイウエオ順）

安藤明之（東経大） 和泉潤（名産大） 岩井淳（群馬大） 遠藤薫（学習院大） 太田敏澄（電通大） 兼田敏之（名工大） 河又貴洋（長崎県大） 木村忠正（東大） 後藤玲子（茨城大学） 桜井成一朗（明治学院） 小豆川裕子（N T T データ経営研） 須藤修（東大） 高橋真吾（早大） 寺野隆雄（東工大） 田中秀幸（東大） 刀川眞（室蘭工大） 中井豊（芝浦工大） 野田哲夫（島根大） 根本敏則（一橋大） 福田豊（電通大） 廣松毅（情報セキュリティ大学院大） 牧瀬稔（地域開発研） 山本佳世子（電通大）

*必要に応じ、委員を追加する。

文献論文選考専門委員会

文献論文選考専門委員会委員長：太田敏澄

2. 平成23年度事業計画

学術委員会の開催 *年5回程度開催する

構成 委員長、副委員長、委員

学術委員会のもとに以下の専門委員会をおく

- ① 編集専門委員会
- ② 文献論文選考専門委員会

事業・業務内容

1) 学会誌の発行

年2回の刊行を定常化する。

2) 学会誌の構成に関する検討

多様なジャンルを検討する。会員からの投稿を奨励する。

3) 優秀文献の選考

全国大会における研究発表賞の審査を行う。

学位論文賞の選考

優秀論文賞の選考

優秀文献賞の選考

4) 研究部会

平成23年度は以下の研究部会が行われる。

「社会シミュレーションと人間行動」研究部会（主査 太田敏澄）H23年度

設立

5) 学会発表データベース

大会報告論文等のデータベース利用による学会員へのサービス向上を図る。

6) 横断型基幹科学技術研究団体連合、社会学系コンソーシアムへの参加

7) 大学院生発表会の開催

3. 全国大会関係

1) テーマ：「地域社会の情報ネットワークとガバナンス」

2) その他

【第4号議案 平成23年度収支予算】

(平成23年4月1日-24年3月31日) 単位：円

収入の部			
	科 目	23年度予算	項目
	正会員会費		
1	個人会員	3,024,000	314名×1万円×.9+44名×5千円×.9
2	団体会員	850,000	13社
	(会費 計)	3,874,000	
3	雑収入	300,000	
	収入合計	4,174,000	
	前年度繰越	551,912	
	合 計	4,725,912	

支出の部			
1	和文学会誌作成費	700,000	和文2回印刷
2	英文学会誌作成費	360,000	英文1回印刷(30)、査読謝礼(6)
3	研究会開催費	300,000	定例5回. 情報政策4回
4	全国大会	330,000	J-STAGE. 旅費他
5	分科会補助金	110,000	1部会. 横幹連合. 社会学系コンソーシアム
6	学会賞作成費	150,000	盾. 受賞者参加費等
7	会員名簿作成費	0	
8	通信費	200,000	宅急便、切手、電話他
9	印刷費	300,000	学会通信、コピー代他
10	事務費(事務所費)	0	
11	事務管理費	1,260,000	事務委託
12	備品費	100,000	
13	会議費	50,000	
14	消耗品費	100,000	ソフト、ラベル、用紙他
15	雑費	100,000	振込手数料他
16	支部補助金	200,000	4支部
17	予備費	350,000	事務局移転費用
18	支出合計	4,610,000	
	次年度繰越金	115,912	
	合 計	4,725,912	

☆ 統合のための合同委員会報告 ☆

【第2回統合のための合同委員会】

日時 2011年6月25日(土) 18:00-20:50

会場 早稲田大学楠亭

出席 伊藤、廣松、太田、遠藤、(議事録作成:今田、和泉)

議題

1. 前回議事録の承認
2. 部会議事録
3. スケジュール
4. その他

第2回「統合に向けた合同委員会」審議事項

- 1 以下の点を確認した。統合に向けて、来年の2012年4月に新学会発足ができるように両学会共努力する。
- 2 現在、各部会で審議していた内容を、7月20日前後までに「中間報告」の形で取りまとめて、7月中には2つの学会の会員に、すべての部会の「中間報告」を公開して、意見聴取を行う。
- 3 以下の内容で各部会に審議内容を委託する。

・研究活動部会

- ① J A S Iの支部がこれまで果たしてきた役割を重視して、統合の後も、この支部活動を継続し、支部単位の活動や研究会が開催できるように具体的なプランを作成されたい。その際、全国をカバーできるような支部組織を設置することが望ましい。
- ② 研究活動にかかわる機構として、上記の支部組織以外に、テーマ別に研究会を組織する「研究委員会」(仮称)など、2つの学会のこれまでの研究活動を活かしながら、複数の機構を構築することを検討されたい。

・学会誌発行部会

- ① 2012年4月に新学会が創設されることを念頭に、スムーズに新学会誌が発行できるように万全の準備をはかっていただきたい。投稿基準、投稿時期、審査体制など。
- ② 現在の「学会誌発行部会」を「学会誌発行・移行部会」として、移行期の編集作業をおこなう責任と権限を付与し、上記の課題を担うための体制を検討されたい。

・渉外部会

- ① 法務・財務委員会では、会員の種別を「正会員」「学生会員」「賛助会員」「名誉会員」の4種類にすることを提案している。その内容と、渉外部会のこれまでの検討結果との間には、相違がある。また、「団体会員」には選挙権・被選挙権を与えることはできないと考える。以上の諸点をふまえて、再度、企業や自治体との関係をより緊密にするための方法をプランニングしていただきたい。
- ② 2012年4月に新学会が創設されることを念頭に、2011年秋または2012年にかけて「企業」「自治体」「学会」をネットワークするワークショップや研究会を開催できないか検討されたい。また企業や自治体にアンケートを取るなどのプランも検討されたい。

次回、統合のための合同委員会は、部会委員長・副委員長との合同開催。

7月23日(土) 18:00 会場は東京大学情報学環本館6階実験室

☆ 理事会報告 ☆

【第1回理事会報告】

日時 平成23年5月6日（金）18:00-20:30
会場 東京大学駒場キャンパス 18号館4階コラボレーションルーム4
出席者 14名 遠藤、太田、尾関、木村、五藤、桜井、島田、田中、遠山、新川、
平林、廣松、前田、和泉

議 事

1. 平成22年度事業報告
2. 平成22年度収支決算報告
3. 平成22年度特別会計報告
4. 平成23年度事業計画案
5. 平成23年度収支予算案
6. 新会員の入会承認・退会承認
7. 合同研究発表大会
8. 統合に関する事項
9. その他学会運営に関する事項

議事概要

1. 配布資料に基づき、平成22年度事業報告、収支決算、特別会計、平成23年度事業計画案、予算案を確認した。
支部報告については、支部ごとでなく、各議案ごとの記載とする。
2. 回覧資料に基づき、入会退会を承認した。
3. 田中理事より、合同研究発表大会について、報告があった。
4. 統合および部会活動についての意見交換があった。
次回、6月18日は未定。

【第2回理事会報告】

日時 平成23年6月18日（土）16:30-17:00
会場 中央大学駿河台記念館670会議室
出席者 太田、尾関、木村、五藤、桜井、佐藤、島田、小豆川、田中、辻井、根本、
平林、廣松、福田、前田、山本、和泉

議 事

1. 各委員会報告
2. 新会員の入会承認・退会承認
3. 合同研究発表大会
4. 統合に関する事項
5. その他学会運営に関する事項

議事内容

1. 資料に基づき、前回議事録を承認した。
2. 資料に基づき、入会個人5名、退会個人5名を承認した。
木村理事からの入会希望者1名については、入会申請書が届き次第、追加承認とした。
3. 資料に基づき、田中理事より、第1回学術委員会報告があった。
4. 資料に基づき、廣松会長より、法務・財務部会議事録について報告があった。
5. 資料に基づき、田中理事より、研究活動部会議事録の報告があった。
6. 資料に基づき、桜井理事より、学会誌統合部会議事録の報告があった。
7. 資料に基づき、福田理事より、渉外専門部会議事録の報告があった。
8. 資料に基づき、太田理事より、表彰部会議事録の報告があった。
9. 山本理事より、若手交流について、今年度は日本計画行政学会との開催の説明があった。詳細、手続きについては後日、学術委員会マター。
10. 配布資料に基づき、辻井理事より、日本計画行政学会2011年秋季全国研究発表大会の後援依頼があり、それを承認した。

次回は7月23日（土）13:00 東京大学大学院情報学環本館2階教室

☆ 研究会報告 ☆

【第 129 回定例研究会】 JASI 特別企画 ICT フォーラム 2011

日 時 6月18日(土)
会 場 中央大学駿河台記念館
テーマ 東日本大震災と災害情報
講 師 吉井博明(東京経済大学)
田中 淳(東京大学)
増田 建(東京大学)

【第 63 回情報政策研究会】

日 時 7月15日(金)
会 場 中央大学駿河台記念館
テーマ 東日本大地震と情報ネットワーク～BCP、図上シミュレーション訓練、釜石支援活動～
講 師 独立行政法人 水資源機構 石川家継

☆ 委員会報告 ☆

【総務委員会】

●第 1 回総務委員会

日 時 平成 23 年 6 月 18 日(土) 10:00-10:40
会 場 中央大学駿河台記念館 670 号室
出席 五藤、後藤、榊、桜井、和泉
議 題
1. 総務委員会年間スケジュールについて
2. 学会合併に向けての取り組みについて
3. 広報、ホームページについて
4. 支部業務・会計報告のフォーマットについて
5. その他
次回未定。

【学術委員会】

●第 6 回学術委員会(平成 22 年度第 6 回学術委員会)

日 時 平成 23 年 1 月 23 日(日) 12:00~12:20
会 場 早稲田大学本部キャンパス 16 号館 605 号室
出席者 安藤明之(東経大)、和泉潤(名産大)、岩井淳(群馬大)、
遠藤薫(学習院大)、太田敏澄(電通大)、岡田勇(創価大)、
五藤寿樹(日本橋学館大)、佐渡一広(群馬大)、桜井成一朗(明治学院大)、
税所哲郎(群馬大)、田中宏和(静岡大)、田中秀幸(東大)、新川達郎(同志社大)、
廣松毅(情報セキュリティ大)、山本佳世子(電通大) [敬称略]

議 事

1. 平成 22 年度第 5 回学術委員会議事録案
2. 平成 23 年度の全国大会
3. 研究者倫理研究部会
4. その他

●第 7 回学術委員会（平成 22 年度第 6 回学術委員会）

日 時 平成 23 年 3 月 29 日（火）12:00～12:50
会 場 早稲田大学本部キャンパス 16 号館 605 号室
出席者 和泉潤（名産大）、岩井淳（群馬大）、遠藤薫（学習院大）、太田敏澄（電通大）、
岡田勇（創価大）、五藤寿樹（日本橋学館大）佐藤哲也（静岡大）、税所哲郎（群馬大）、
田中宏和（静岡大）、田中秀幸（東大）、塚原康博（明治大）、野田哲夫（島根大）、
山本佳世子（電通大） [敬称略]

議 事

1. 平成 22 年度第 6 回学術委員会議事録案
2. 平成 23 年度の全国大会（田中委員）
3. 研究者倫理研究部会（田中委員、山本委員）
4. 新規の研究部会の承認（田中委員）
5. その他
 - ・次回以降の学術委員会および表彰委員会は、
平成 23 年度 第 1 回 電通大 P 棟 401 室で、5 月 13 日（金）19 時より開催予定
第 2 回 電通大 P 棟 401 室で、6 月 3 日（金）18 時より開催予定
第 3 回 場所未定で、7 月 23 日（土）10 時より開催予定

●第 1 回学術委員会

日 時 平成 23 年 5 月 13 日（金）19:20～19:30
会 場 電気通信大学東 2 号館 401 室
出席者 太田敏澄（電通大）、岡田勇（創価大）、五藤寿樹（日本橋学館大）、田中秀幸（東大）、
塚原康博（明治大）、野田哲夫（島根大）、山本佳世子（電通大） [敬称略]

議 事

1. 平成 22 年度第 7 回学術委員会議事録案
2. 平成 23 年度の全国大会（田中委員）
3. その他（田中委員）
 - ・次回以降の学術委員会および表彰委員会は、
平成 23 年度 第 2 回 電通大東 2 号館 401 室で、6 月 3 日（金）18 時より開催予定
第 3 回 場所未定で、7 月 23 日（土）10 時より開催予定

[表彰委員会]

●第 1 回表彰委員会

日 時 2011 年 6 月 18 日（土）13:00～13:48
場 所 中央大学駿河台記念館 670 会議室
出席者 榎並、太田、尾関、五藤、島田、小豆川
議 題

1. 学会功労賞
2. 社会システム貢献賞

3. 優秀文献賞
4. 優秀論文賞・論文奨励賞
5. 大学院学位論文賞
6. その他
 - ・ 第2回表彰委員会は、7月23日（土）11時半～東京大学工学部で開催予定。

☆ 事務局だより ☆

* 会費納入のお願い

過年度の会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

未納会費請求につきましては、現在、年4回の請求（10月、12月、4月、8月）をさせていただいておりますが、未納の場合、会員規則第4条に従いまして、1年未納の場合会員サービス停止、2年未納の場合は除名となる場合があります。主旨ご理解の上、重ねてよろしくごお願い申し上げます。

* 通信費削減への協力のお願い

各種ご通知・ご案内を封書にてさせて頂いて戴いておりますが、少しでも通信費予算を削減し、より充実した研究会・学会誌等に充当致したく、メールでのご案内を考えております。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。メールアドレスが変更された会員の方は、事務局までご送信のほどよろしくごお願い致します。

平成17年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週2日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくごお願い申し上げます。

宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail office@jasi.info

事務局所在地が変わりました。

新住所は以下のとおりです。電話、ファックスに変更はありません。

〒181-0012

東京都三鷹市上連雀 1-12-17 三鷹ビジネスパーク SOHO プラザ A-301